

○交流産業としての観光
まちづくり



さとう けんじゅ
佐藤 建樹

質問 観光とは中国の「易経」にある国の光を観るに由来する言葉で奥の深い産業です。

歴史的なものや文化的なもの、自然的景観が単にあるだけではお客様は訪れません。

成熟段階に達した今日は、地域の自然や歴史、産業、文化などの「らしさ」の魅力を求めるのが、これからの地域観光と思います。

地域文化と風土を組み合わせた通年観光として、全国に名高い南部鉄器、奥州市伝統産業会館を中心にした他にない、総合鋳物産地を形成している生産活動が、そのまま産業文化観光の発想です。観光行政の取組みを市長にお伺いします。

市長 近年の旅行形態は、産業観光など歴史、文化を学ぶ本物志向へと変化し、多様化しています。奥州市旅行商品造成事業として正法寺などの観光地に加えて、鋳物などの伝統的工芸品、産直品、



産業観光鋳物工場街一関～北上線 (完成22年度)

歴史などの要素を盛り込み、地域を深く知る内容とした所です。実行性の高い施策に取り組みます。

質問 主要地方道一関北上線都市計画道路上川端北鶴ノ木線羽田地区街路工事は22年度開通予定、こしき炉、キューボラ、電気炉が軒を連ねる鋳物工場を通ります。鉄の文化観光産業として歴史街道に、鋳物歴史公園の構想進捗を伺います。

市長 都市計画街路の残地活用は、地元の協力を得て、県が鋳物由来の案内板を設置します。市としても地域の鋳物歴史顕彰に支援します。

○公共下水道の受益者負担金は公平か
○美しい快適な街づくり



えんどう さとし
遠藤 さとし

質問 奥州市では公共下水道の受益者負担金が、汚水を発生させる建物の面積ではなく宅地すべてに賦課しているが、全国の自治体アンケートでは、建物1棟当たり定額としている例や賦課額に上限を設けている所があります。市内には宅地がかなり広い例があり負担に不公平があります。見直すべきと考えるが伺います。

奥州市では公共下水道の受益者負担金が、汚水を発生させる建物の面積ではなく宅地すべてに賦課しているが、全国の自治体アンケートでは、建物1棟当たり定額としている例や賦課額に上限を設けている所があります。市内には宅地がかなり広い例があり負担に不公平があります。見直すべきと考えるが伺います。



取ってもらうのを待っている雑草達

市長 一定の調査を行い、財政と照らし合わせながら全体的な解決を図ってゆく必要があると思います。個々の問題についてもそれぞれに対応する必要があると思います。

質問 豊かで雄大な自然環境を持つ私たちの街が、手入れが行き届き、そういった活動をする市民が増えることは市民のふるさとへの思いが高まると思います。市民団体や企業、地域の仲間、個人などが決まった場所を行政と里親契約を結び清掃活動をする※アダプトプログラム制度を積極的に導入すべきと思うが伺います。

市長 新しい街づくりとしてよいアイデアだと思えます。他の先進自治体の例もあると聞いているので、検討委員会で前向きに検討して行きます。

都市整備部長 アダプトプログラムでは行政は用具の提供や保険の支援をします。住民と行政の協働活動は、自治体経営で大事な手法であり共に街を造るために提言をしつかり捉え前向きに計画して行きます。

※アダプト・プログラム：市民と行政が協働で進める、新しい「まち美化プログラム」です。アダプトとは英語で「〇〇を養子